

情報公開文書作成日:2026 年 7 月 11 日(第 1 版)

多発性骨髄腫に対して自家造血幹細胞移植を実施された患者さんへ

成田赤十字病院では下記の研究を行っています。

この研究は、成田赤十字病院倫理委員会の審査または確認を受け、院長の許可を得て行っているものです。

1. 研究の名称	多発性骨髄腫に対する自家造血幹細胞移植に関する研究
2. 研究の対象となる方	2015 年 1 月～2026 年 6 月の間に当院で多発性骨髄腫に対して自家造血幹細胞移植の治療をうけた方
3. 研究の目的 ①試料・情報の利用目的	この研究では多発性骨髄腫患者さんの中で、自家造血幹細胞移植の有効性について調べることを目的としています。
4. 研究の方法 ①試料・情報の利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。） ⑤提供する試料・情報の取得の方法	この研究では、診察時の患者情報（各種血液/尿/骨髄/画像検査値・治療レジメン情報など）を使用し自家造血幹細胞移植後の生命予後を解析します。
5. 研究に用いる試料・情報の項目 ②利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報； (a) 診断時年齢 (b) 診断時性別 (c) 診断臨床情報（PS、病期、予後スコアなど） (d) 診断時血液、尿、骨髄、画像検査所見 (e) 治療のレジメン内容、投与量 (f) 幹細胞採取時のG-CSF使用の有無 (g) 治療中の重篤な有害事象（発熱性好中球減少症、肺炎など） (h) 治療効果 (i) 再発の有無、再発日 (j) 最終観察日、転帰、死因 院外へ情報や試料を提供する予定はありません。
6. 使用開始予定日 ③利用又は提供を開始する予定日	2026 年 8 月 17 日
7. 当院院長の氏名 ④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	成田赤十字病院 院長 青墳 信之
8. 研究組織 ⑥提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称	●当院のみで実施する研究 研究責任者：成田赤十字病院 血液腫瘍科 津島隆史
⑦利用する者の範囲 ⑧試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	記載不要

9. 研究への不参加の自由について ⑨研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨 ⑩研究対象者等の求めを受け付ける方法	情報がこの研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方から不参加のお申し出があった場合は研究対象としません。不参加のご判断をされた場合は下記の「連絡先」までお申出ください。（不参加のお申し出があった場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。） 但し、学会や論文で発表した後などご連絡をいただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、情報の削除ができない場合もありますのでご理解ください。 また、研究から得られた個別の結果については原則としてお答えいたしません。この研究について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記の「連絡先」までご連絡ください。
10. 外国に試料・情報を提供する場合 ⑪外国にある者に対して試料・情報を提供する場合には、1(6)イに規定する情報	■ 外国への試料・情報の提供なし □ 外国への試料・情報の提供あり
11. 連絡先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 成田赤十字病院 研究責任者：血液腫瘍科 津島隆史 住所：〒286-8523 千葉県成田市飯田町90番地1 電話番号：0476-22-2311（代）

※本研究計画書中の①～⑪は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 ガイダンス（令和6年4月1日一部改訂；「生命指針ガイダンス」と記載する）「第8 インフォームド・コンセントを受ける手続等」「6 研究対象者等に通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くべき事項」に対応している。

以上